

第11回 中学校対抗ウォークラリー大会 ~ Takeyama walk rally 2016 ~



「緑あふれ
光きらめく
武山を
歩こう!」

12月10日

生徒さんが「楽しく、美しく戦うことを誓います」と宣誓し、「緊張して恥ずかしかったが、上手く言えて良かった」と話してくれました。武山のコースは、スタートしてすぐに急斜面の登山です。中学生は木の枝やドングリ、ヘビの抜け殻などを拾いながら、楽しそうに登りました。

風が冷たいものの空は晴れ渡り、気持ちのいいウォークラリー日和でした。開会式では「大自然から見下ろす三浦半島を是非見てもらいたい」「横須賀を愛する心を育んでもらいたい」と来賓から挨拶を頂きました。選手宣誓では、馬堀中学校の

ました。帰りには、転がった止まらないくらい急坂を下り、富士見小学校とJA武山集荷センターでそれぞれ



採点方法

- ①ラリーポイント (最高120点)
 - ②クイズ (60点)
 - ③ゲーム (60点)
- 総合得点で競います

頂上の武山不動院にも隠れたクイズ



Q 地元野菜の名前知ってる?
ズイキ、トトロの葉っぱ!



Q 山道の「庚申塔」に刻まれた猿は何匹?

仲間と一緒に考え行動することで強まった絆を忘れないでほしい」と励ましの声を頂きました。このウォークラリーには、地元武山の武青推の会、ユースネット武山、武中BMS、



各チームが時間差スタート!

その後、体育館で結果発表と閉会式が行われました。来賓の方より「険しい坂からの達成感と素晴らしい景色、の堪能、仲間と一緒に考え行動することで強まった絆を忘れないでほしい」と励ましの声を頂きました。このウォークラリーには、地元武山の武青推の会、ユースネット武山、武中BMS、



優勝：大津中学校Bチーム

“勝因は、仲間と協力し、ウォークラリーを楽しんだこと。自分のミスも、仲間みんなが助けてくれた。”

若耕さん(わこづ)と多くの方々の協力があり成り立っていたのだと、改めて感じました。貴重な経験や色々な知識を通して、武山を堪能できたウォークラリーでした。(松元 陽子)

結果発表

- 優勝：大津中Bチーム (200ポイント)
 - 準優勝：岩戸中Aチーム (199ポイント)
 - 3位：武山中Aチーム (182ポイント)
- ※17校 39チーム/190名参加



わんぱくフェスティバル2016 10月30日(日) 10時〜

神奈川県立保健福祉大学において、実行委員会五団体(ボイスカウト、ガールスカウト、子ども会指導者協議会、県立大学国際交流ボランティア、アナーコット)、青少年育成推進員連絡協議会)の主催により開催されました。

5月から半年間に6回の実行委員会協議・検討し、前日から舞台の設定、看板等の設置、展示ブース



の地割など準備をしました。当日は未明からの小雨と風で壊れた看板もありましたが、開会式前には雨も上がり、昨年同様約四千人の来場者で大盛況でした。

の協力をいただきました。また、例年通り商工会議所・横須賀みかさライオンズクラブによる協賛に加え、今年には横須賀市から運営費の一部助成もいただき、織田新実行委員長の元、スタッフ・出演者約六百人が「青少年にさまざまな体験・経験をしてもらう」をスローガンに良い汗を流しました。



非行防止キャンペーン

私たち青少年育成推進員連絡協議会は9〜11月にかけて市内7か所で非行及び犯罪被害防止を重点に呼びかけてまいりました。

電力中央研究所 10月1日10時〜

大楠・武山中学校区



小雨の降る中、大楠中学校の生徒10名を含む24名が集まりました。会場となった電力中央研究所は、地域の子どもたちが楽しみにしている「施設公開日」。足を早める子どもたちに、中学生のお兄さん、お姉さんがやさしく声をかけます。気づけば、雨も上がり、用意されたすべての配布物は生徒たちの手からも消えていきました。(渡邊 圭史)

浦賀駅周辺 11月12日13時〜

浦賀・鴨居中学校区



気持ちよい秋晴れの日となり、浦賀中学生徒9名、鴨居中学生徒19名、引率の先生、推進員、警察署員等、昨年より10名以上多い49名(児童2名を含む)が浦賀駅前に集合。午後1時から駅周辺で青少年の健全育成・非行防止キャンペーンを展開、2時には用意したティッシュ、チラシをすべて配付し終わりました。

京急久里浜駅周辺 11月12日11時〜

久里浜・神明中学校区



良く晴れて空気が澄んで、中学生の声が爽やかに響きます。「非行防止キャンペーンです!」とティッシュを手渡す時の笑顔も印象的。この日は「久里浜食の祭典」が行われていて人も多くあり、あつという間に終了です。「大きな声を出せて良かった!」楽しかった」と、満足げな中学生たちでした。(岡田 安司)

YRP野比駅周辺 11月19日15時〜

野比・北下浦・長沢中学校区



YRP野比駅にて野比・長沢・北下浦合同で非行防止キャンペーンを実施しました。「非行防止キャンペーンです!」と声を出してティッシュ・チラシを手渡すことに、初めは照れた様子の中学生でしたが、段々と自信を持っ

京急田浦駅周辺 11月19日15時〜

田浦中学校区



当日は中学生20名と先生方、田浦警察署員、保護司等、総勢39名で非行防止キャンペーンを行いました。人通りの少ない土曜日の午後ですが、駅に電車が到着すると改札前は人であふれます。私たちはそれを機に、非行防止を訴えるチラシやティッシュを手渡しました。駅の時刻表で到着時間を確認し「あと1分だけ来るよ」と楽しそうに声を掛け合いながら活動している中学生たちの様子が、とても印象的でした。(椎野 芳行)

北久里浜駅周辺 11月19日15時半〜

大矢部・岩戸・公郷中学校区

また今年も雨に叩かれるのか...不吉な予感のする空模様の中、3中学校の生徒42名、先生10名、育成推進員15名、総勢67名で実施しました。「非行防止キャンペーンを行っています。ご協力をお願いします」毎年このことながら3中学校の生



衣笠駅周辺 11月19日15時半〜

池上・衣笠中学校区



徒たちは、元気な掛け声と要領の良い動作で、配布物を手渡していました。通行人も「元気ですね、ご苦労様です」と声を掛けてくれました。雨も降らず約40分で無事終了しました。(里見 規矩夫)

11月は 子ども・若者育成支援強調月間 育成推進員の活動をパネル展示しました。



市役所北口展示コーナーにて

第49回
神奈川県青少年指導員大会
11月27日(日) 13時より
藤沢市民会館大ホール

県立茅ヶ崎高等学校チアリーディング部による明るく元気な演技から始まり、79名の青少年指導員の表彰式が行われました。



横須賀からは二宮嘉之さん(武山中学校区)、小林正和さん(大矢部中学校区)が表彰されました。

次に「きみの笑顔が未来をつくる」と引き出そう！みんなの元気！！というスローガンによる活動事例発表が、藤沢市と寒川町からありました。

続いて「子どもの未来は大人次第!!」まずは大人が子どもの「希望」になる事」というテーマで、ラフティング日本代表チーム監督、大磯町青少年指導員の浅野重人氏が講演されました。

競技経験から、人生に必要なものは自然に全てあるということ(自然の中での体験、経験を通じた教育が必要)、チームワーク(互いに一つの目標に向かうこと)で意識を高める)、まずは大人が実践すること子どもも夢と希望を持って社会とつながることができるとい話をされました。

(本田 智子)

平成28年度活動体験発表

2月11日(日) 13時30分より

青少年会館ホール

青少年育成推進員活動体験発表会が開催されました。参加者は昨年よりも10名ほど多い、総勢122名でした。

はじめに当協議会の織田会長や友の会の芦澤会長の挨拶の後、井上副会長から、推進員は子どもたちの良い思い出作りや地域を愛する心を育てるために活動していること、そのためには地域の連携が大切であるとの話がありました。

続いて今年は大楠、長沢、大津および坂本中学校区の活動体験発表がありました。大楠中学校区は、「オール大楠」の掛け声のもと推進員が中心となって様々な活動をしており、交通安全イベントの紹介動画は迫力がありません。長沢中学

校区では、音楽とスポーツに力を入れており、子どもたちの笑顔あふれる様子が写真をふんだんに用いて紹介され、その楽しさが伝わってきました。大津中学校区は、恒例!?の寸劇での活動報告で、チヨコバナナ教室の様子など心のこもった演技が展開されていました。坂本中学校区では「ふるさと創り」をキーワードに、酪農体験の様子などが躍動感あふれる写真を用いて紹介されていました。

さらに今年は、葉山町の青少年指導員連絡協議会から諸岡様、水留様、河合様をお迎えし、葉山町の活動の様子を報告していただきました。特にモノづくりに力を入れた「さわやか体験学習」での木の椅子作りや、ジェルキャンドル作りなどの事例を紹介していただきました。他の地域の青少年育成活動を知る良い機会となり、今後も続けてほしい企画の一つだと感じました。

(山本 光)



ゆっやけこやけ

久しぶりの連休に、家族と軽井沢のスポーツ施設に行ってきた。その施設には球技場や色々な形をした自転車、トランポリンなどがあり、私も子どもたちと一緒に大人気なくはしゃいでいた。

その施設に入ってからずっと気になっていた物があった。それは、25〜26年前に流行していたローラースケートだ。1人でやるのは恥ずかしいので子どもに教えてあげるからと半ば強引に誘い、久しぶりから履くローラースケートにわくわくしながら、子どもの頃のように滑れるか不安もあった。

初めは教えながら滑っていたが、子どもたちはすぐに飽きてしまい1人だと恥ずかしいので、子どもが乗っている自転車を追いかけているように見せて密かに楽しんでいた。

日頃の仕事の疲れも忘れ子ども頃にかえったように感じたが、次の日全身筋肉痛で歳を感じた。

(T・S)

編集後記

広報紙の作成に携わって感じることは、子どもたちの笑顔と元気。行事や活動を楽しもうという気持ち。写真を選ぶ時も記事を校正する時も、彼らの声が聞こえてきます。こうなると取材も写真撮影も校正作業も、いっそう楽しくなります。皆さんに彼らの元気な声と笑顔が伝わるように・・・会議のあとは反省会です。

(Y・O)